

事業所名		放課後等デイサービス 葉				支援プログラム		作成日		2025		3月		10日	
法人（事業所）理念		「福祉」それは何を認識し、何を目指し、何にどのように働きかけるか、その問いに私たちは明確な意志(答え)を持ち、全ての人々が社会の一員として普段の地域生活を安心、安全の中 で送ることができる、その一端を担うことを使命とし、責務を果たしていくものである。													
支援方針		・個々の特性を個性とみなし、潜在する強み、能力を育み、自主性を兼ね備えた自立へと支援していきます。 /・・・できる 、できない、の両面で推し量るのではなく、できたらいい、できなくてもいいとの寛容性を組み入れ、一人ひとりの行為、行動の中にある、本質、感性を見出し、育み、将来の糧となる ものを習得できるよう適時、適切な対応をもつての支援をしていきます。													
営業時間		9		時		0分から		18時		0分まで		送迎実施の有無		ありなし	
		支 援 内 容													
本人支援	健康・生活	・健康状態に関する情報を詳細に収集、その管理を怠らず、日々の生活全般の様子を記録していく。 ・基本的生活リズム（睡眠、食事、排泄など）を身に着ける。 ・集団生活、個別活動における決まり事への意識を高める。													
	運動・感覚	・日常生活における動作改善、筋力の維持、強化をはかるために運動習慣の定着をはかる。 ・周囲との調和の中、外遊び、スポーツ、遊戯全般に楽しく参加できるよう環境、空間の整備、構築に留意します。 ・専門機関、専門職員によるコーディネーション。													
	認知・行動	・環境変化に対応するための必要なスキルを視覚的、聴覚的から習得できるよう認知行動療法の認識、また認知向上を促すグッズなどを導入します。 ・偏食、こだわりへの対応、配慮工夫をします。 ・日々のスケジュールや時間的推移を視覚的、聴覚的に理解できるよう適切な施設機材を配備、設営します。													
	言語 コミュニケーション	・集団生活や日常での様々な活動をする中で適切な言語の使い方を学び、また自らの発信力を促進できる、そのための読み、書きの必要性を意識できるよう支援します。 ・コミュニケーションや他者との交流をよりスムーズにはかるため児童の相関性に留意しその環境、空間に配慮工夫をしていきます。 ・時節行事などにおける発表会。													
	人間関係 社会性	・身近な人たちと親密な人間関係を構築していくために集団生活の規模に変化を付け加えながら人との接し方、関わり方を習得していく。 ・トラブル回避の在り方や相手の身になって考えられるよう他者理解への支援をする。													
家族支援		・課題解決における進捗状況を常に把握し、改善点や急を要する事項には迅速な対応を実施しています。 ・支援の向上を図るうえでの家庭連携の強化、維持を図ります。						移行支援		・学童クラブや地域の児童達との交流を深める。 ・公共施設の利用。 ・移動の際に関わる交通機関への認識やその利用手段を知る。					
地域支援・地域連携		・相談支援事業所との連携。 ・障害福祉サービスや社会資源の適切な活用。 ・学校、各関連機関との連携、情報共有の維持、継続。						職員の質の向上		・サービス改善会議、職員会などを実施。 ・資格取得や職員の資質向上への研修参加。					
主な行事等		・専門職員（臨床心理士）を交えての保護者会。 ・施設周辺の清掃活動。 ・別事業所との交流会。 ・トライやるウィーク活動の学生受け入れ。													